

7 用語解説

ア行

- [ICT 圃場管理システム](#)

ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）を利用し、圃場（栽培農地）の気温や湿度、かん水等を管理するシステムのこと。

- [SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）](#)

2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴール・169のターゲットから構成されている。

カ行

- [かんしょ](#)

サツマイモのこと。

- [GAP（Good Agricultural Practice：農業生産工程管理）](#)

農業者自らが、農作業の点検項目を決定し、点検項目に従い記録し、また記録を点検・評価し、改善点を見出し、さらに次回の作付けに活用するという一連の管理のこと。

- [草花](#)

本計画では、切り花のうち、菊・バラ・カーネーションを除いた、トルコギキョウ・金魚草などの販売目的で生産される花きを指す。

- [グリーンツーリズム](#)

農山漁村地域における自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。新たなライフスタイルとして、都市と農山漁村それぞれに住む人々がお互いの地域の魅力を分かち合い、「人・もの・情報」の行き来を活発にする取組み。農山漁村地域の高齢者や女性などに生きがいや活躍の場を提供し、農水産業後継者の育成や遊休農地の解消等を図り、地産地消の推進、地域の活性化などが期待できる。

- [ゆうこう](#)

主に長崎市土井首地区と外海町の2地区に生息している柑橘類の品種。果実の重さは150g程度で、形はユズやカボスに似ており、果肉はやわらかく、酢ミカンらしい味で、香りはザボンやユズに似て甘い香りである。収穫は10月から1月まで続き、飲料・調味酢・マーマレード・ローション・料理への食材など幅広く利用されている。

サ行

- [施設野菜](#)

一般的にビニールハウス等の施設内で栽培される野菜類。いちご・ミニトマト・アスパラガス等。

- [周年栽培](#)

時期を選ばず、1年間を通して栽培すること。

- [秀品率](#)

ある農産物において、全体量に占める高品質生産物の割合。

- [生産振興事業](#)

農産物の生産を振興するために行う事業。補助金を交付するものや、計画・システムの構築を行うもの等がある。

- [スマート農業](#)

ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・精密化や高品質生産の実現する新たな農業。

- [青壮年層](#)

本計画では、主に 45～65 歳の年齢層を指す。

- [狭地なおし](#)

狭小な農地に手を加えて、生産効率の良い農地に整備し直すこと。

夕行

- [多面的機能支払交付金](#)

農地が持つ多面的機能を保全するための活動（水路掃除や草刈り等）に対して交付される交付金。

- [単収](#)

単位面積当たりの収穫量。特に 10a あたりの収量で表される。

- [地域連携組織](#)

地域の問題を解決するため、地元の住民等から組織され、人・農地プラン等の策定や協議を行う団体。

- [中山間地域](#)

山間地及びその周辺の地域など、まとまった平坦な耕地が少なく、農業の生産に不利な地域。

- [中山間地域等直接支払交付金](#)

農業における生産条件が不利な中山間地域の生産力を維持するため農地面積に対して交付される交付金。

- [中心経営体](#)

人・農地プランにおいて位置づけられる、将来（5～10 年後）にわたって地域の農地利用を効率的・安定的に担う農業者。主に認定農業者、認定新規就農者等が該当する。

- [中晩柑](#)

1～5 月に収穫される、温州みかん以外の柑橘。

- [TPP（環太平洋パートナーシップ）協定](#)

アジア太平洋地域の 11 カ国の経済連携協定で 2018 年 12 月に発効。

- [DMO（Destination Management/Marketing Organization：観光地域づくり法人）](#)

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。長崎市においては、長崎国際観光コンベンション協会が地域 DMO として登録されている。

ナ行

- [ながさき伝統野菜](#)

長崎生まれの野菜や、海外から伝わり、長崎の限られた地域で育てられた伝統的な野菜。「辻田白菜」、「長崎赤かぶ」、「長崎白菜（唐人菜）」、「紅大根」、「長崎高菜」など。

- [軟弱野菜](#)

収穫から急速に品質の落ちる野菜のこと。ねぎ、ほうれんそうなどの青物に多い。保存が利かないため、生産地は消費地の近くにあることが多く、近郊農業の典型的な野菜。

- [農協系統](#)

農協が関連する販売先。直売所等。

- [農地集積・流動化](#)

農地の貸し借り等を円滑にすることで、耕作者（担い手）に集約すること。

- [農地中間管理機構](#)

農地中間管理事業を推進するために全国に設置される組織。長崎県では（公財）長崎県農業振興公社。

- [農地中間管理事業](#)

農地の有効活用と耕作放棄地の増加防止を図るため、平成 26 年度から全国的に実施されている事業。

貸出可能な農地の情報を集約し、農地の借入希望者のマッチング及び仲介を行うことで、農地の貸し借りの円滑化に寄与している。

- [農福連携](#)

障害者等が農業分野で就労することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み。

八行

- [パッケージセンター](#)

農産物を出荷できる状態にするために、箱詰めや梱包等の作業を行う施設。

- [半農半X](#)

農山村で副業・兼業などの多様なライフスタイルを実現するための、農業と他の仕事を組み合わせた働き方。

- [肥育素牛](#)

肉用牛として育成する目的で生産された仔牛。

- [人・農地プラン](#)

地域の人（農業の担い手）や農地に関する問題を解決するために、地元主導による将来プランを策定し実践することにより、地域農業の活性化を図る取り組み。

- [ブロイラー](#)

肉用鶏のこと。

- [放置林](#)

間伐などの保全活動が行われない林。

- [補完作物](#)

栽培時期や栽培特性の違い等を利用し、基幹作物の傍らで経済的に補完することを目的に栽培される作物。

- [圃場](#)

作物を栽培する田畑。

マ行

- MICE

企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

令和3年11月に長崎初のMICE施設として、『出島メッセ長崎』が開業した。

- マルチ被覆

農産物の品質を高めたり、生育を促進することを目的として、作物周辺の畑の表面をプラスチックフィルム等で覆うこと。

ヤ行

- 有利販売

特定の農産物を市場での流通量が少ない時期等に積極的に出荷することにより有利な価格・高単価で販売すること。

ラ行

- 6次産業化

1次産業としての農林漁業と、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業の事業との総合的かつ一体的な推進を図り、地域資源を活用した付加価値を生み出す取組み。

第二次長崎市農業振興計画 [前期計画]

令和4年3月

発行 長崎市

編集 長崎市水産農林部農林振興課

〒850-0037 長崎市金屋町9番3号 金屋町別館5階

電話 095-820-6564 FAX 095-829-3444

Email norin_shinko@city.nagasaki.lg.jp

URL <http://www.city.nagasaki.lg.jp/>